

工事説明書

ガスビルトインコンロ

型 式 名

60cm幅タイプ

75cm幅タイプ

DW31N8WA・C3WN8PWA

DW31N9WA・C3WN9PWA

誤った機器の設置を行った場合の危害・損害の程度を、次のように区分しています。
いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠ 警告

この表示を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意

この表示を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が軽傷を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

🙏 お願い

使用者が安全に快適に使用していただくために理解していただきたい内容です。



禁止



必ず守る



分解禁止

設置される方へ（この「工事説明書」を設置前に必ずお読みください。）

⚠ 注意



設置するときは、可燃物との距離を確実に離す。

必ず守る 火災の原因になります。

- ・周囲の壁が不燃材料以外で、トッププレートに貼り付けの防火性能評定品ラベルに記載されている離隔距離を確保できない場合は、絶対に設置しないでください。
どうしても設置しなければならない場合は、必ず別売の防熱板を取り付けてください。
防熱板を取り付けなかった場合、火災のおそれがあります。
※仕上げの構造が確認できない場合は、必ず防熱板を取り付けてください。→ 4～5ページ
- ・下記に応じて設置を行ってください。
(1) ビルトインコンロのみを単体で設置する場合 → 1～13ページ、19～裏表紙
(2) ビルトイン形ガスオープンとセットで設置する場合 → 1～5ページ、14～裏表紙



必ず守る

機器を安全にご使用いただくため、この工事説明書をよく読んでから、有資格者による指定された設置を行う。



必ず守る

建築基準法、当該地区の市・町・村の条例、消防法、ガス事業法、液化石油ガス法、「ガス機器の設置基準および実務指針」（一般財団法人日本ガス機器検査協会刊）に従う。

⚠ 警告



禁止

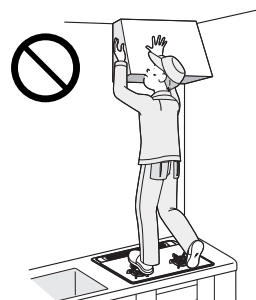
トッププレートのガラス裏面には、絶対にキズをつけない。
（ガラストッププレートのみ）



禁止

ガラス強度が著しく低下し、破損しやすくなります。
また火災・損傷事故の原因になります。

機器の上には絶対にのらない。また、ガラスに強い衝撃を与えたり、過度な荷重をかけない。
ごとくの変形やトッププレートのガラス破損につながり、異常過熱や火災の原因になります。



⚠ 注意



分解禁止

設置で必要なところ以外は絶対に改造・分解は行わない。

一酸化炭素中毒のおそれがあります。また、火災の原因になるおそれがあります。

🙏 お願い

- ・乾電池を抜かずに点火/消火ボタンを「点火の状態」で放置しないでください。乾電池の消耗が早くなります。
- ・乾電池を使用しているガス機器を大型ゴミなどで廃棄される場合は、必ず乾電池を取り外してください。
そのままにしておきますと思わぬ事故になることがあります。

- ・この工事説明書に基づいて、設置されていることを確認してください。
- ・設置が終了したら、設置後の点検確認のチェックリストに基づいて、必ず再確認してください。
- ・この工事説明書の記載内容から外れた設置が原因で生じた故障および損傷は、保証期間内であっても保証の対象とならないので注意してください。
- ・設置終了後、保証書（取扱説明書に記載）に必要事項を記入し、必ずお客さまに渡してください。
- ・取扱説明書に従って、お客さまに機器の操作方法など、取り扱い説明をしてください。



59261130

ケJ11-03

○もくじ

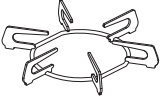
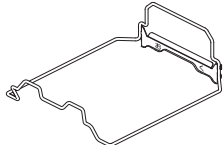
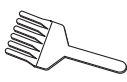
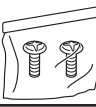
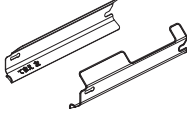
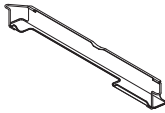
開こん	2
各部のなまえ	3
設置前の注意	4
設置場所の確認	4～5
機器の設置	6～19
ビルトインコンロ単体で設置する場合	6～13
ビルトインコンロとビルトイン形	
ガスオープンセットで設置する場合	14～19

ガス接続・ガス配管工事	19～裏表紙
設置後の点検確認	裏表紙
試運転	裏表紙

開こん

◎同こん部品・付属品の確認

次の部品が同こんされています。不足のないことを確認してください。

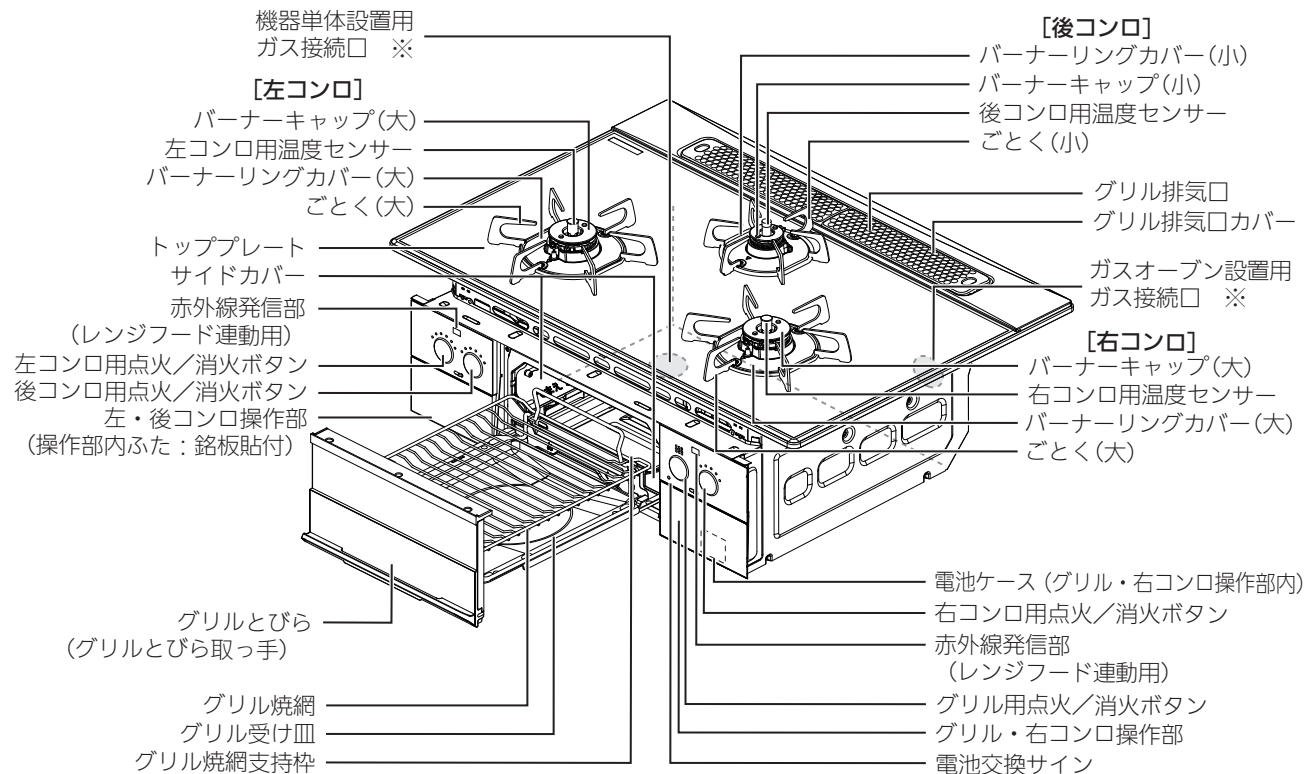
部 品 名	形 状	個数	部 品 名	形 状	個数
バーナーキャップ(大) ＜左右コンロ用＞		2	左・後コンロ操作部ふた	 品名コードなど	1
バーナーキャップ(小) ＜後コンロ用＞		1	グリル・右コンロ操作部ふた		1
ごとく(大) ＜左右コンロ用＞		2	グリル焼網		1
ごとく(小) ＜後コンロ用＞		1	グリル焼網支持台		1
バーナーリングカバー(大) ＜左右コンロ用＞		2			
バーナーリングカバー(小) ＜後コンロ用＞		1	※2 魚すくって		1
サイドモール(左) サイドモール(右)		各1	トッププレート固定用 ネジ×2		1
サイドカバー(左) サイドカバー(右)		各1	アルカリ乾電池 単1形		2
※1 グリル排気口ちり受け(上) (オープンとセット時は不要)		1	取扱説明書(保証書付) 工事説明書 クッキングブック		各1
グリル排気口カバー		2			
左操作部パネルふた		1	検圧口ネジ用アルミパッキン	 (検圧口ネジ用アルミパッキンは、ビルトインコンロで検圧した場合の取り替え用です。機器取付パッキンとは形状が異なりますので注意してください。)	1
右操作部パネルふた		1			

※1：品名コードがDW31タイプ以外

※2：品名コードの末尾が「SKSTS」「S3SVS」タイプのみ

各部のなまえ

DW31N9WASKSVEタイプ



・その他のタイプについては、トッププレートの幅や、形状が異なります。また、グリルとびらは製品仕様によりデザインが異なりますので、詳しくは取扱説明書の「各部のなまえ」を参照してください。

※ガス接続口の位置を示す。(透視図)

設置前の注意

◎設置する機器の確認

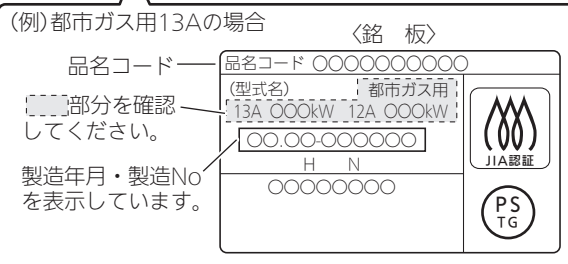
- ・設置する機器が、ご使用になる目的、用途に適合していることを確認してください。

⚠注意

- 必ず守る** 銘板（左・後コンロ操作部内ふたに貼付）に表示してあるガスに適合していることを確認する。
火災・不完全燃焼・異常点火のおそれや、機器が故障する原因になります。
- 必ず守る** ガス種の異なる地域へ転居した場合は、部品交換や調整が必要のため注意する。
爆発や不完全燃焼の原因になります。
- 必ず守る** この機器は家庭用の調理以外の用途には使用できないため、用途を確認し設置する。
火災・不完全燃焼・機器の故障の原因になります。



左・後コンロ操作部内ふた



設置場所の確認

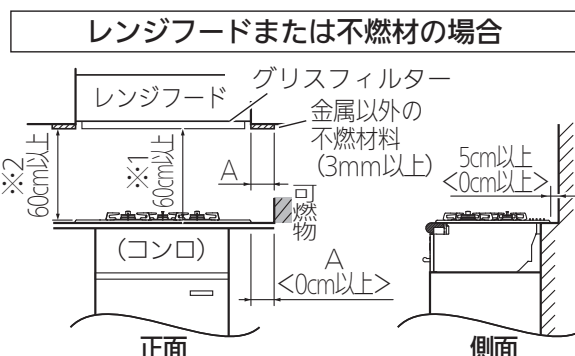
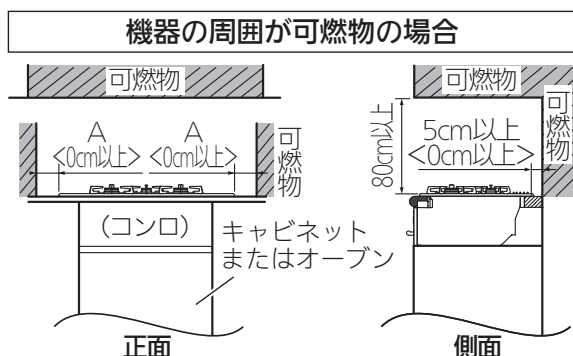
◎防火上の離隔距離

- ・機器を設置する周囲の壁などが、防火上安全な場所かまたは、防火上有効な間隔を確保することができる場所に設置してください。
- ・この機器は防火性能評定品です。

⚠注意

- 必ず守る** 周囲の障害物、可燃物との離隔距離が確保されていることを確認する。
火災の原因になります。

※機器の周囲の可燃物（可燃材料、難燃材料または、準不燃材による仕上げをした建物の部分も含む）とは、トッププレート上部に貼り付けの防火性能評定品ラベルに基づき下図の離隔距離を確保してください。



A寸法

- 60cm幅タイプ：15cm以上
- 75cm幅タイプ：7.5cm以上

- ※＜ ＞内は、周囲の壁を不燃材料で有効に仕上げた部分もしくは、防熱板を取り付けたときの寸法です。
- ※1 レンジフードファン以外の場合は80cm以上。
- ※2 不燃材料がない場合もしくは、金属以外の不燃材料の厚みが3mm未満の場合は、80cm以上。

◎上記離隔距離がとれない場合や、仕上げの構造がわからない場合は、必ず防熱板による防火措置を行ってください。（5 ページ参照）

⚠ 注意



防熱板（別売部品）は、必ず指定のものを使用する。

防熱板に同梱されている「取付説明書」に従って正しく取り付ける。

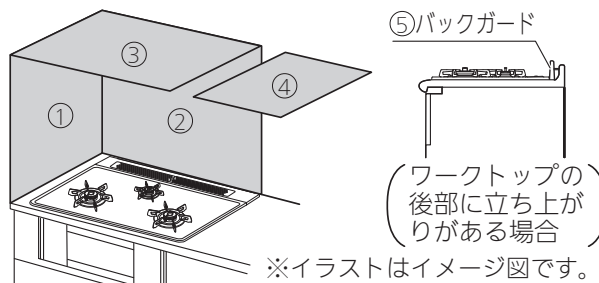
必ず守る

防熱板を取り付けないと、火災の原因になります。

- ・防熱板は60cm幅タイプは4種類、75cm幅タイプは5種類用意しています。
 - ・用途に適した防熱板を選んでいただき、正しく取り付けてください。
- ※取り付け方法は別売の防熱板に同梱されている「取付説明書」をご覧ください。

コード番号	高さ(mm)	奥行(mm)	幅(mm)	備考
① DP0128(0706528)	590	—	535	共用
②	590	—	600	60cm幅タイプ用
			750	75cm幅タイプ用
③ DP0129(0706529)	—	550	900	共用
④ LP0117(0705472)	—	550	150	75cm幅タイプ用
⑤	90	—	600	60cm幅タイプ用
			750	75cm幅タイプ用

※DP0101(0705477)、DP0104(0705471)はワークトップ後部の立ち上がり用



防熱板のお求めは、お買い上げの販売店または、弊社窓口（取扱説明書の裏表紙連絡先参照）にお問い合わせください。

- ・設置場所をお決めになるときは、次の事項をよく確認してから決めてください。

⚠ 注意



設置するガス機器および同一室内に設置してある他のガス機器のガス消費量に対し、十分な換気設備がある場所に設置する。

必ず守る

他のガス機器と同時に使用した場合、不完全燃焼による一酸化炭素中毒のおそれがあります。



設置場所を決めるときは、お客さまとよく相談し、安全な場所で、周囲に危険物・可燃物などがなく、火災の危険がない場所に設置する。

必ず守る



水平で丈夫な場所に設置する。

必ず守る



保守メンテナンススペースが確保されていることを確認する。

必ず守る

設置後、トラブルの原因になったり、点検・修理に支障をきたします。



引火性の危険物（ガソリン・灯油・ベンジン・接着剤など）や、業務用薬品（アンモニア、硫黄、塩素、エチレン化合物、酸類などの腐食性薬品）を周囲で保管したり、取り扱う場所には設置しない。

禁止



ガス機器は、ガス工作物、電気工作物などの他の設備に悪影響を与えない位置に設置する。

必ず守る



棚の下など落下物の危険がある場所や樹脂製の照明器具、ガス湯沸器の下には設置しない。火災のおそれや思いがけない事故の原因になります。

禁止



この機器は家庭用のため、業務用として使用する場所に設置しない。著しく機器の寿命が短くなります。

禁止

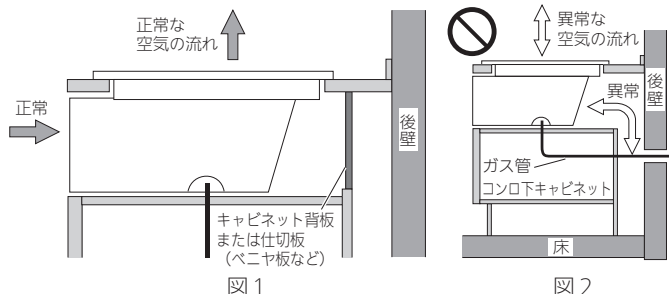


キャビネットを背板などでふさぐ。

必ず守る

・コンロ後方がふさがれていない場合は、ベニヤ板やアルミテープなどでふさいでください。(図1) コンロ後方がふさがれていないと、コンロと後方空間や外気との間で異常な空気の流れが生じる場合があります。(図2) コンロの炎がゆらいだり、消えたり、異常燃焼や機器焼損のおそれがあります。

※別売の仕切板セット(DP0723(0513B01)、DP0724(0513C01))を用意しています。仕切板セットのお求めは、お買い上げの販売店または、弊社窓口（取扱説明書の裏表紙連絡先参照）に連絡してください。



ワークトップの前面部と機器本体上面との間を化粧板などで閉塞しない。不完全燃焼の原因になります。

禁止



上記のほか設置場所について、次のことを守ってください。

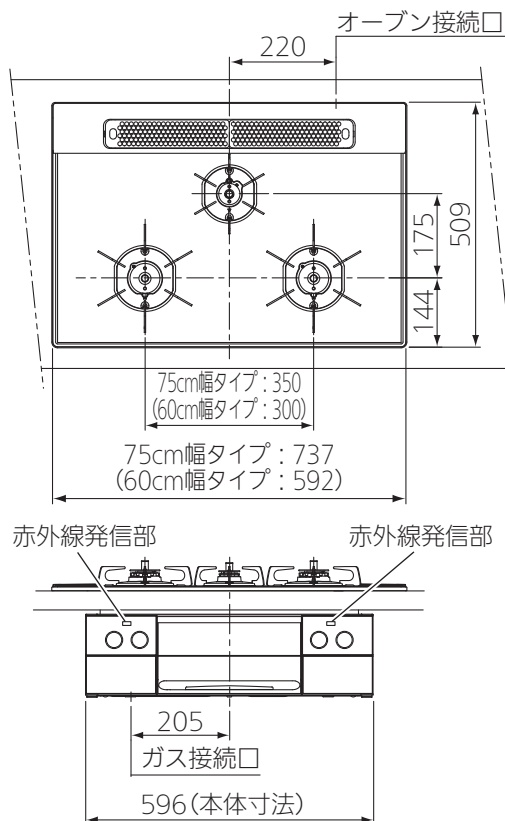
- ・冷暖房装置の吹き出し口近くや、強い風が吹き込む場所に設置しない。
- ・奥行き600mm以上のワークトップに設置する。

機器の設置

◎機器の取り付け

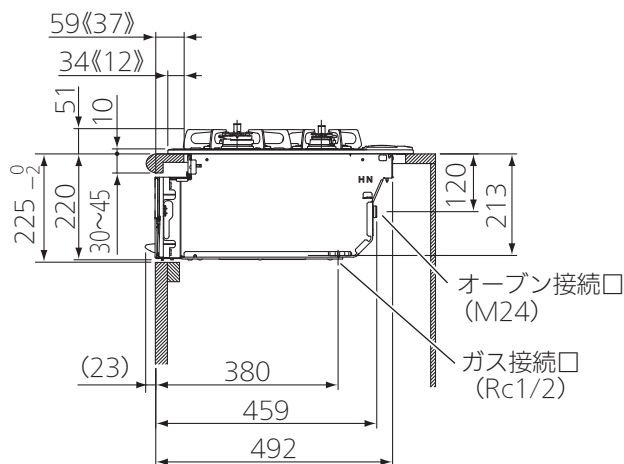
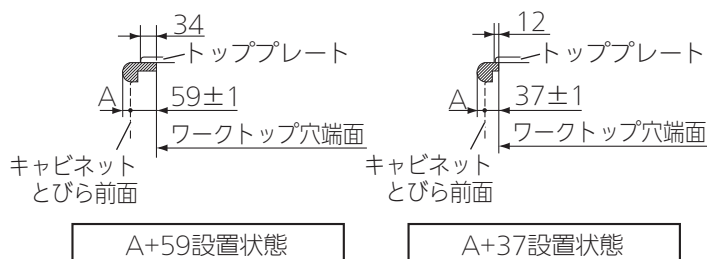
- ・ビルトインコンロ単体で設置する場合

[標準設置図・機器寸法図]



※図はトッププレートが、75cm幅タイプです。
 ※60cm幅タイプについても、トッププレート幅、形状の仕様が異なりますが、設置寸法は同じです。
 ※グリルとびらは製品仕様によりデザインが異なります。
 ※《 》内の寸法はA+37設置寸法です。

〈単位：mm〉



◎ワークトップおよびキャビネットについて

- ・ワークトップ材は熱硬化性樹脂化粧板 (JIS K6903) または同等以上の材料としてください。
- ・ワークトップの表面がニス引きのものは変色しますので使用しないでください。
- ・機器を組み込むために、下図の寸法穴に加工してください。
- ・穴あけ寸法は、公差内になるように加工してください。公差外になると取り付けができなくなります。

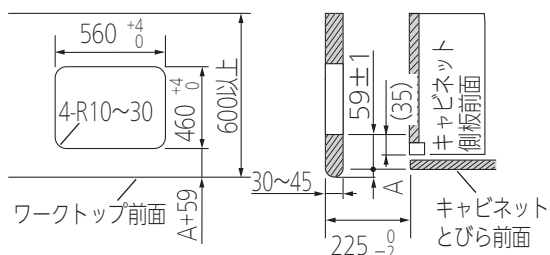
⚠注意



禁止

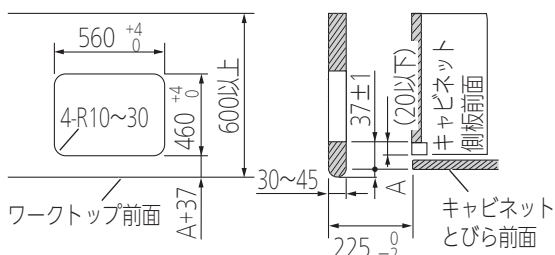
45mmを超える厚いワークトップには設置しない。
 ワークトップの温度が上がり焼損のおそれがあります。
 また、不完全燃焼の原因になります。

標準 (A+59) 穴あけ寸法



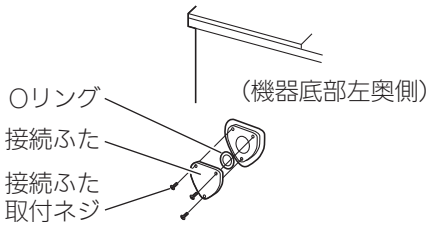
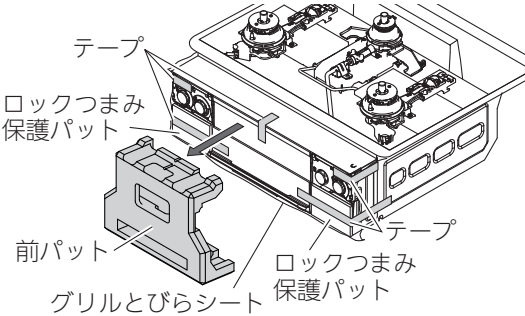
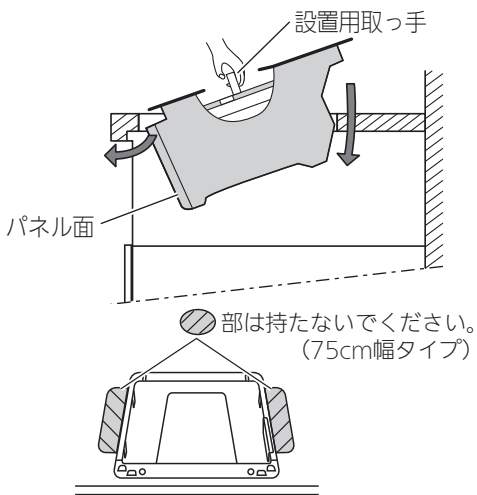
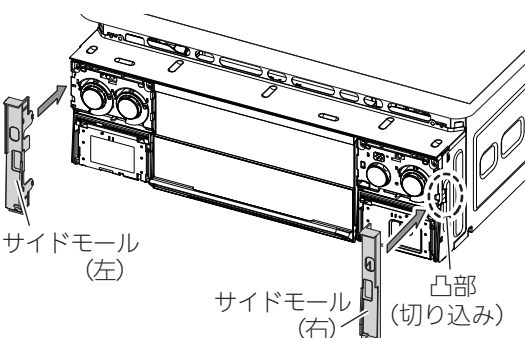
A+37穴あけ寸法

〈単位：mm〉

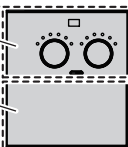
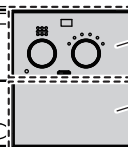


穴あけ寸法はA+59が標準です。ただし、設置フリータイプですのでワークトップ穴あけ寸法はA+59、(A+45) A+37のどちらでも設置できます。

[機器本体の取り付け]

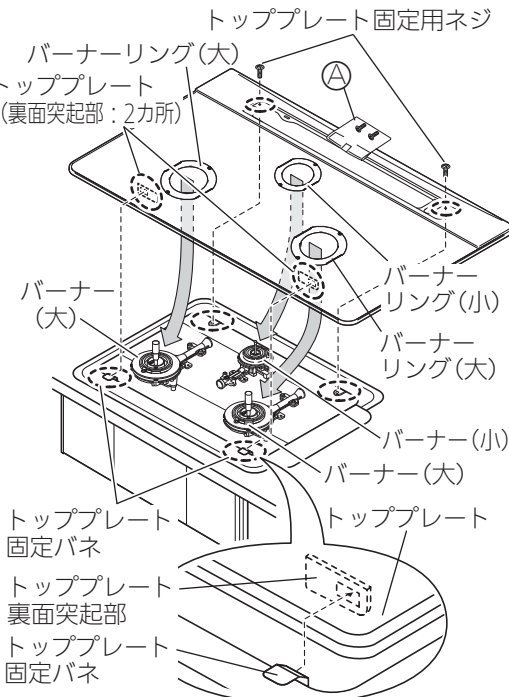
作業手順	説明図
1. 機器側ガス接続口の接続ふたの取り外し 機器底部左奥側のガス接続口に取り付けてある接続ふた（ネジ3本）とOリングを取り外してください。 《取り外した接続ふた・接続ふた取付ネジ・Oリングは不要です。》	ガス接続口位置は3・6ページ参照 
2. 前パットの取り外し 前パットを手前に引き抜いてください。 お願い ・グリルとびらシート・ロックつまみ保護パット・テープは、機器本体のはめ込みが終わるまで、取り外さないでください。<u>取り外すと、グリルとびらや操作部が開き、設置時にキズがついたり、破損する原因になります。</u>	
3. 機器本体のはめ込み 機器中央部の設置用取っ手を持ち、機器本体をキャビネットにはめ込んでください。 ※上部左右の枠を持たないでください。（75cm幅タイプ） ※はめ込み時はワークトップやパネルなどをキズつけないように注意してください。 ⚠ 注意  絶対にガス配管やバーナーなどを持たない。 ガス漏れや異常燃焼の原因になります。  機器を設置したあと、設置用取っ手を手前にたおす。 トッププレートガラス破損につながる危険があります。	
4. サイドモールの取り付け グリルとびらシート、ロックつまみ保護パット、テープを取り外しサイドモールの機器本体前部サイドの凸部（切り込み）にまっすぐに差し込み、奥にあたるまで差し込んでください。 ※サイドモールの、（左）（右）がありますので、右図の通り取り付けてください。 《サイドモールの取り付け忘れ注意！》 ※イラストはわかりやすくするために、コンロ本体のみにしています。	

パネルふた、操作部ふたの取り付け時、必ず確認してください。

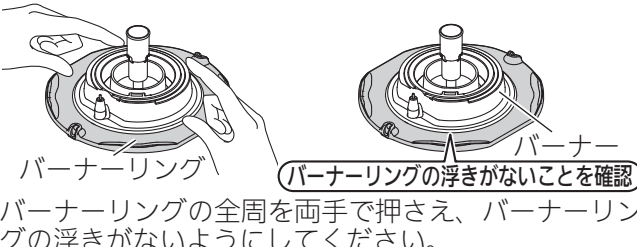
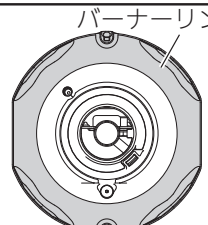
⚠ 注意  左右パネルふた（各1個）、左右操作部ふた（各1個）の取り付け方向に注意する。 必ず守る  左操作部パネルふた 左・後コンロ操作部ふた  右操作部パネルふた グリル・右コンロ操作部ふた パネルふた、操作部ふたの取付位置	
---	--

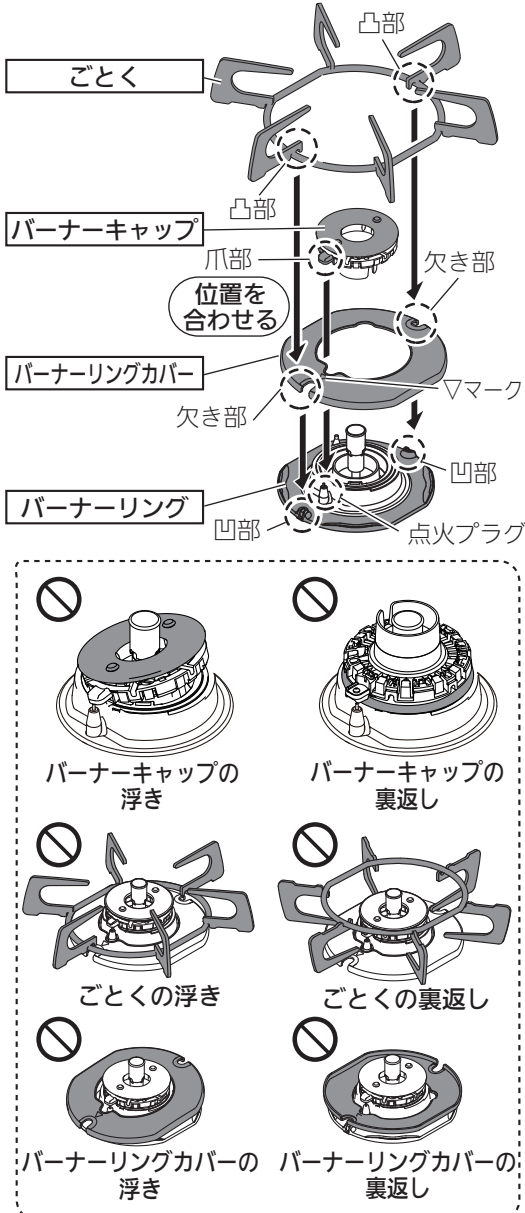
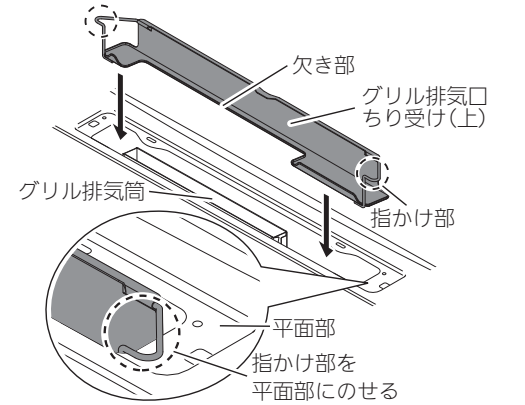
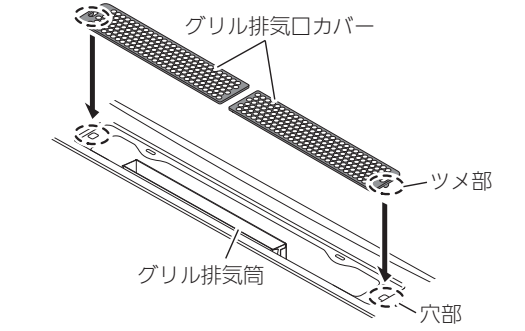
作 業 手 順	説 明 図
5. パネルふたの取り付け ※必ずグリルとびらを引き出した状態で行ってください。 1. パネルふたのツメ（2カ所）を機器本体の欠き部に合わせて、グリル側から取り付けてください。 2. パネルふたのツメを欠き部に差し込み、パネルふたを押し当ててください。 3. ロックバーをカチッと音がするまで下げてください。 ※ツメが機器本体の欠き部にきちんと差し込まれているか、また、パネルの浮き、外れがないか確認してください。 ※イラストは、右操作部パネルふたで説明しています。 左操作部パネルふたも同様に取り付けてください。 ただし、ツメや欠き部、ロックバーの位置が左右逆になりますので、注意してください。	1. 欠き部 右操作部パネルふた ツメ 2. 3. 下げる ロックバー
6. 操作部ふたの取り付け 1. 操作部ふた（裏面）のツメ（2カ所）の開いている部分をパネル下方の軸部に合わせ、斜め上方よりパチンと音がするまで差し込んでください。 2. 操作部ふたを奥側に押して、操作部を取り付けてください。 3. もう一度、操作部ふたを奥側に押して、操作部を開け、操作部ふたと操作部に浮きがないことを確認してください。 ⚠ 注意 ❗ 必ず守る 操作部ふたのツメ（2カ所）を差し込むときは、軸部にまっすぐ2カ所同時に差し込む。 傾けて取り付けると、ツメが破損するおそれがあります。 ❗ 必ず守る 操作部ふたと操作部に浮きがないことを必ず確認する。 浮きがあると、煮こぼれが機器内部に浸入し、故障の原因になります。 浮きがないかを確認 浮きがある場合は図のようにはめ込んでください。 ※イラストは、グリル・右コンロ操作部ふたで説明しています。 左・後コンロ操作部ふたも同様に取り付けてください。	グリル・右コンロ 操作部ふた（裏面） ツメ 軸部 1. 差し込む 2. 押し込む
7. 機器本体の固定 ・機器本体の位置決めは、機器本体側面の本体固定ネジ（4本）でワークトップに固定してください。 ※機器前面とキャビネット前面とのおさまり具合を確認しながら位置決めを行ってください。	機器本体 本体固定ネジ イラストは、75cm幅タイプです。

[部品の取り付け]

作業手順	説明図
1. バーナーキャップの取り外し ・トッププレートを取り付ける前にバーナーキャップを外してください。 ⚠ 注意 ！ バーナーキャップは必ず取り外す。 バーナーキャップを取り外さずにトッププレートの取り付けを行うと、トッププレートにバーナーキャップが当たりキズなどがつくおそれがあります。	
2. トッププレートの取り付け 1. トッププレート後部に貼り付けているトッププレート固定用ネジ ④ を外してください。 (このネジは、3. で使用します。) 2. トッププレートを水平に保ちながら機器本体にかぶせます。 バーナーリングとバーナーを合わせながらトッププレートを取り付けてください。 トッププレート裏面突起部がトッププレート固定バネに確実に固定するように、トッププレート手前部を押さえてください。 3. 1. で外したトッププレート固定用ネジ ④ で、トッププレートを機器本体後部に固定してください。 《必ず手動ドライバーを使用！》 ※電動ドライバーは、ネジが利かなくなります。 お願い ・トッププレートの取り付けは確実にいき、浮きがないことを確認してください。 ・トッププレート枠下部周囲に取り付けられているシールパッキングが外れていないか確認してください。 ※イラストはわかりやすくするために、透視図にしています。	 イラストは、75cm幅タイプです。 トッププレート枠 ガラス シールパッキング

トッププレート取り付け後、必ず確認してください。

⚠ 注意 ！ トッププレート取り付け後、バーナーリングの「浮き」がないことを必ず確認する。 <u>「浮き」があると煮こぼれが機器内部に浸入し、故障の原因になります。</u> 必ず守る ！ トッププレート取り付け後、バーナー用パッキングがはみ出していないことを必ず確認する。 <u>はみ出ていると、バーナーの炎により、バーナー用パッキングが破損するおそれがあります。</u> 必ず守る	 バーナーリングの浮きがないことを確認 バーナーリングの全周を両手で押さえ、バーナーリングの浮きがないようにしてください。 バーナー用パッキングがはみ出していない状態  バーナー用パッキングがはみ出ている状態  バーナー用パッキングがはみ出ている
--	--

作 業 手 順	説 明 図
3. バーナーリングカバー・バーナーキャップ・ごとくの取り付け - バーナーリングカバー・バーナーキャップ取り付け後、ごとくを正しく取り付けてください。 ◎バーナーリングカバーの取り付けかた - バーナーリングカバーの▽マークを手前にし、欠き部(前後2カ所)をバーナーリングの凹部(前後2カ所)に合わせて、浮きがないように取り付けてください。 ◎バーナーキャップの取り付けかた - バーナーキャップの爪部が、点火プラグの真上にくるように合わせ、浮きがないように取り付けてください。 (点火プラグに衝撃をあたえないようにしてください。) ◎ごとくの取り付けかた - ごとく内側の凸部(前後2カ所)を、バーナーリングの凹部(前後2カ所)に入れて、浮きがないように取り付けてください。 ⚠ 注意 ! 必ず守る バーナーリングカバーとごとくは正しく取り付ける。 誤った取り付けかた(浮き、裏返し、ズレなど)で使用すると、鍋などが不安定になり、傾いたり、倒れたりし、<u>やけど、点火不良、不完全燃焼、変形の原因になります。</u> また、取り付けの際に衝撃を加えると、トッププレートに<u>キズがついたり、ガラスが割れる原因になります。</u> ! 必ず守る バーナーキャップは正しく取り付ける。 誤った取り付けかた(浮き、裏返しなど)で使用すると、 - 点火しない場合があります。 - 炎のふぞろいや逆火で<u>不完全燃焼、一酸化炭素中毒のおそれや変形の原因になります。</u> - 機器の中に炎がもぐりこんで、<u>焼損する原因になります。</u> - 機器寿命が<u>短くなるおそれがあります。</u>	
4. グリル排気口ちり受け(上)の取り付け (品名コードが DW31 タイプ以外) ◎グリル排気口ちり受けの取り付けかた 指かけ部を上にし、欠き部とグリル排気筒を合わせながら、指かけ部が平面部にのるように取り付けてください。	
5. グリル排気口カバーの取り付け グリル排気口カバーのツメ部をグリル排気口の穴部に合わせて取り付ける。	

6. 乾電池の取り付け

アルカリ乾電池（単1形：1.5V）を2個使用します。

〔電池ケースの引き出し〕

1. グリル・右コンロ操作部の上部の「押」表示部を押して、グリル・右コンロ操作部を開けてください。
2. グリル・右コンロ操作部ふたの左右側面に指を引っ掛け、矢印の方向に開け、操作部を押し込んでください。

お願い

- ・グリル・右コンロ操作部ふたは約90°まで開きます。それ以上は無理に開かないでください。また、無理な力を加えないでください。グリル・右コンロ操作部ふたが破損する原因になります。もし外れた場合は、8ページ「6. 操作部ふたの取り付け」を参照して取り付けてください。

3. 電池ケースの上部に指を引っかけて、引き出してください。
- ※ 電池ケースは落下防止のため、途中で止まる仕様になっていますので、ゆっくりと引き出してください。強く引き出すと、破損の原因になります。

〔乾電池の取り付け〕

4. 乾電池（2個）の⊕⊖を確かめ、電池ケースに組み込んでください。

⚠ 注意

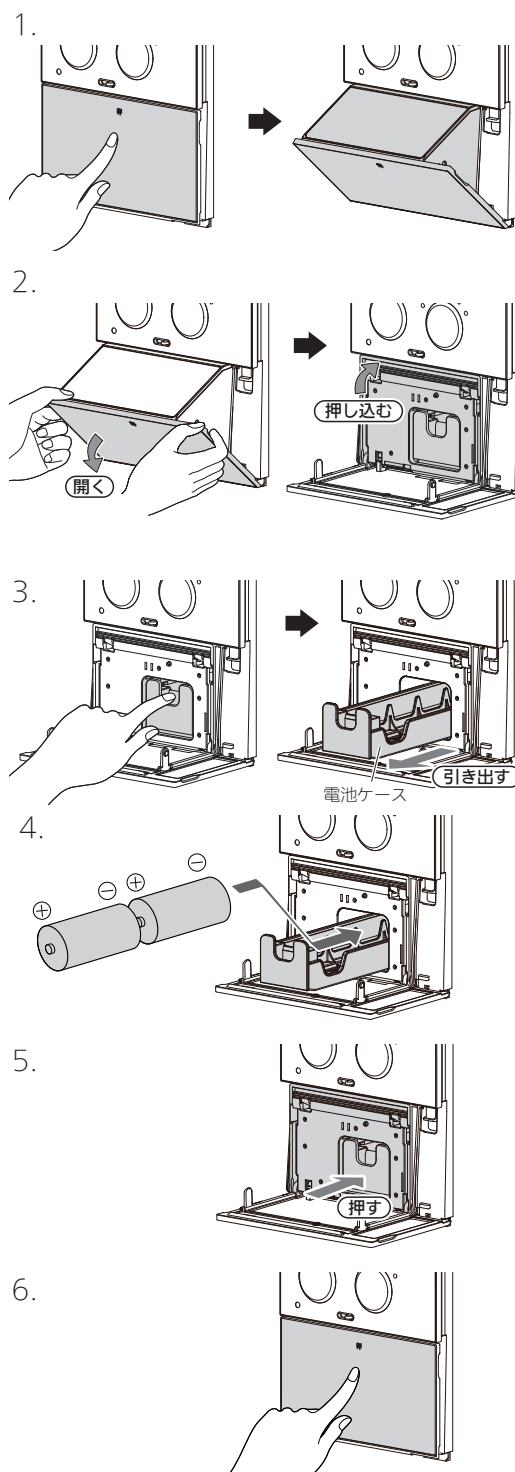
- ⊕ ⊖
乾電池の⊕⊖方向は間違えない。
使用できません。

〔電池ケースの戻し〕

5. 電池ケースを奥まで押し込んでください。
- ※ 電池ケースをしっかり奥まで押し込んでいない状態で、グリル・右コンロ操作部ふたを閉めないでください。グリル・右コンロ操作部ふたが破損する原因になります。
6. グリル・右コンロ操作部ふたを元どおり確実に閉めてください。
- ※ グリル・右コンロ操作部ふたと操作部に浮きがないことを確認してください。8ページ「6. 操作部ふたの取り付け」を参照してください。

お願い

- ・電池ケースに水や異物が入った場合は、ふき取ってきれいにしてください。
電池機能不良の原因となります。



7. レンジフードファンの赤外線信号の動作確認

(品名コードの末尾が『E』『ES』『C1W2T』タイプのみ)

[レンジフードファンと連動する場合]

- ・点火／消火ボタンを押して点火操作をし、レンジフードファンの連動を確認してください。
- ・レンジフードファンが動作しない場合は、下記操作を行い、設定を変更してください。

※レンジフードファンが連動対応していない場合は、動作しません。

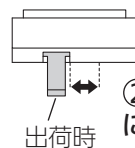
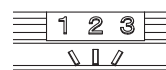
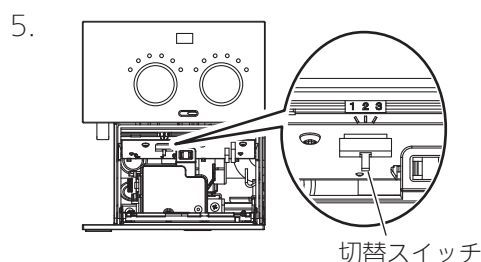
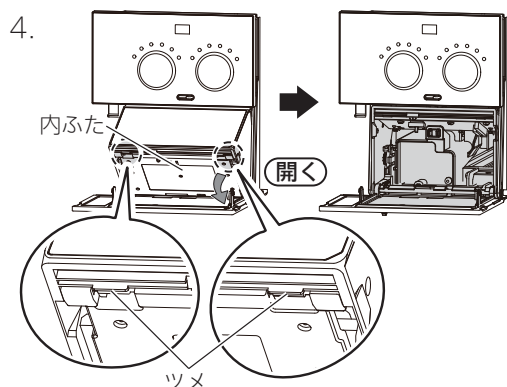
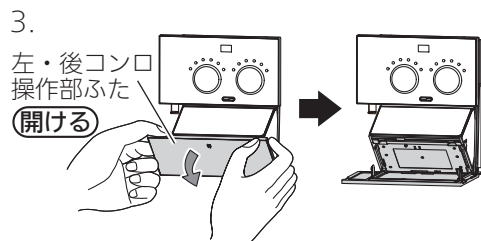
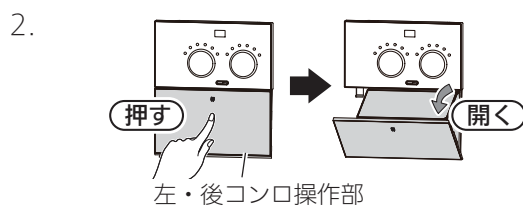
◎設定の変更

1. 機器本体より乾電池を抜いてください。
11ページ「6. 乾電池の取り付け」を参照してください。
2. 左・後コンロ操作部の上部の「押」表示部を押して開けてください。
3. 左・後コンロ操作部ふたの左右側面に指を引っ掛け、矢印の方向に開けてください。
4. 操作部を少し出した状態で、内ふたのツメ(左右2カ所)のロックを外して内ふたを開けてください。
※内ふたは、操作部を押し込んだ状態では開きません。
5. 切替スイッチを②または③に設定してください。
(出荷時は①に設定されてます。)
※切替スイッチの位置で、各メーカー設定の信号に変更することができます。
6. 内ふたおよび、左・後コンロ操作部ふたを元通りに戻してください。
※左・後コンロ操作部ふたと操作部に浮きがないことを確認してください。8ページ「6. 操作部ふたの取り付け」を参照してください。
7. 乾電池を機器本体に戻してください。
8. 点火／消火ボタンを押して点火操作をし、レンジフードファンの連動を確認してください。
※再度設定をやり直す場合は、1. の手順から行ってください。

⚠ 注意

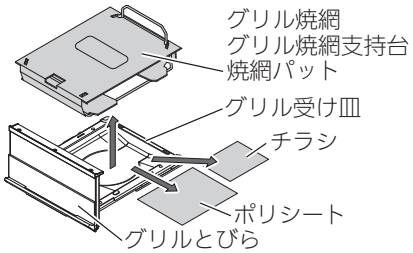
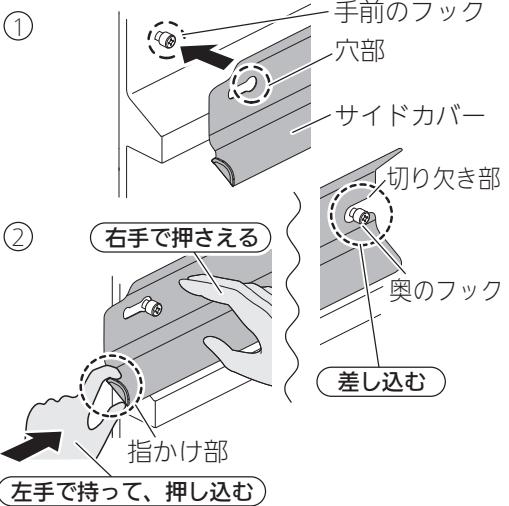
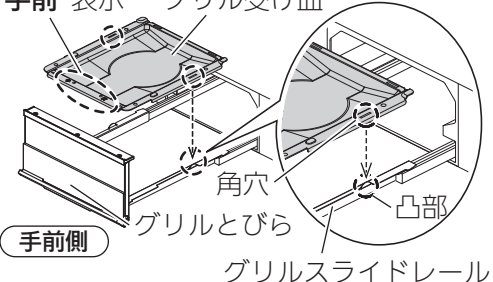
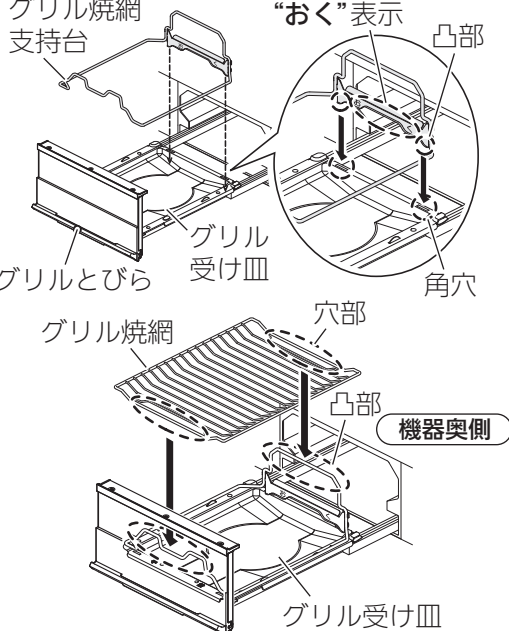


設定を変更する場合は、必ず乾電池を抜いて設定する。
乾電池が入っている状態で切替スイッチを変更しても、設定はされません。



②～③のいずれかに切り替える

レンジフード側信号 (レンジフードの主なメーカー名)	No.
NECフォーマットA (富士工業製、渡辺製作所製など)	①
NECフォーマットB (東芝キャリア製など)	②
家製協フォーマット (パナソニック製など)	③

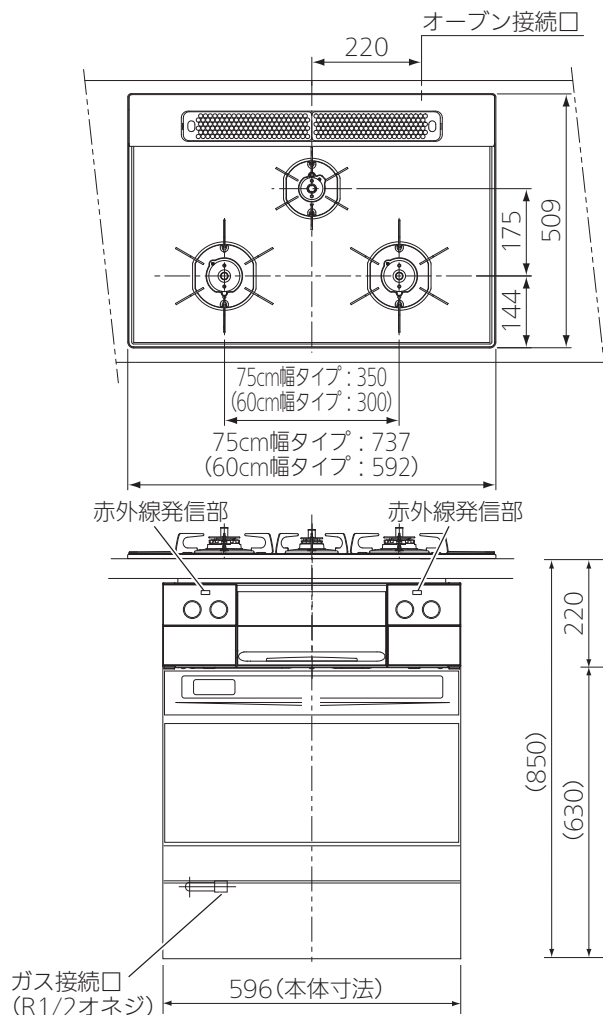
作 業 手 順	説 明 図
8. グリル内包装材の取り外し ・グリルとびらを引き出し、焼網パット・チラシ・ポリシートを取り除いてください。	 グリル焼網支持台 焼網パット グリル受け皿 チラシ ポリシート グリルとびら
9. サイドカバーの取り付け 1. 手前のフックにサイドカバーの穴部をサイドカバーの側面に手を添えて引っかけてください。 2. 左手でサイドカバーの指かけ部を持ち、右手でサイドカバー側面を押さえ、まっすぐ奥に押し込みながら、奥のフックにサイドカバーの切り欠き部を差し込んでください。 ※サイドカバーは、(左)(右)および、前後がありますので注意してください。 指かけ部の近くに“てまえ左”または“てまえ右”と表示しています。 ※図は、サイドカバー(左)で説明しています。 サイドカバー(右)も同様に取り付けてください。	 ① 手前のフック 穴部 サイドカバー ② 右手で押さえる 切り欠き部 奥のフック 差し込む 指かけ部 左手で持って、押し込む
10. グリル受け皿の取り付け ・グリル受け皿の角穴(左右2カ所)にグリルスライドレールの凸部(左右2カ所)を差し込んでください。 ※“手前”と表示している方を手前側(グリルとびら側)にしてください。	 “手前”表示 グリル受け皿 角穴 グリルとびら 手前側 グリルスライドレール 凸部
11. グリル焼網支持台・グリル焼網の取り付け ・グリル焼網支持台の凸部(後方2カ所)をグリル受け皿の角穴(後方2カ所)に差し込んでください。 ※グリル焼網支持台は、“おく”と表示している方を機器の奥側にしてください。 ・グリル焼網の穴部(前後)をグリル焼網支持台の凸部(前後)に乗せてください。 お願い ・グリルとびらが閉まりにくい場合やこすれる音がした場合は、サイドカバー・グリルとびら・グリル受け皿・グリル焼網支持台・グリル焼網が正しく取り付けされていません。 そのまま押し込むと、<u>変形や破損の原因になりますので、再度きっちりと取り付けてください。</u>	 グリル焼網支持台 “おく”表示 凸部 グリルとびら グリル受け皿 グリル焼網 穴部 角穴 機器奥側 凸部

※ガス配管工事については、裏表紙のガス接続方法「ビルトインコンロ単体で設置する場合」を参照してください。

◎機器の取り付け

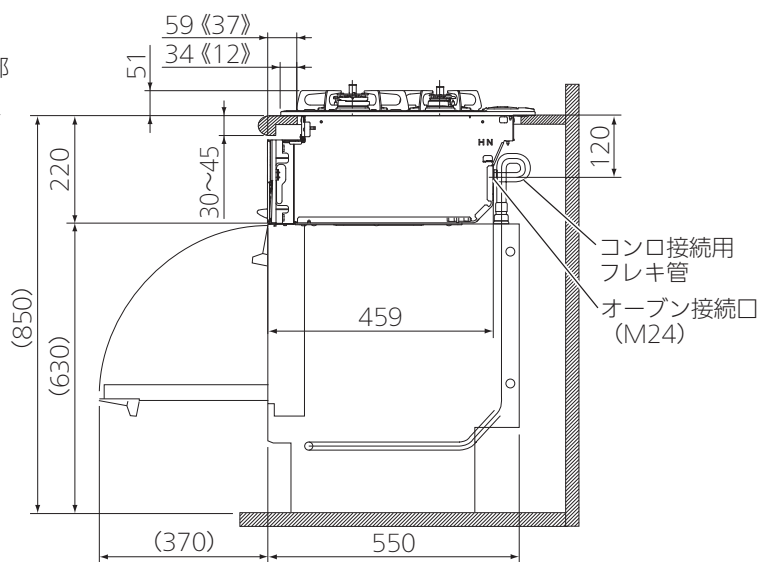
- ・ビルトインコンロとビルトイン形ガスオーブンをセットで設置する場合
- ・オーブンのタイプは、ワークトップ穴あけ寸法に関係なく、A+37仕様(Vタイプ)になります。オーブンの仕様を確認のうえ設置してください。詳しくはオーブン側の「工事説明書」を参照してください。

[標準設置図・機器寸法図]



※図はトッププレートが75cm幅タイプです。
 ※60cm幅タイプについても、トッププレート幅、形状の仕様が異なりますが、設置寸法は同じです。
 ※グリルとびらは製品仕様によりデザインが異なります。
 ※《 》内の寸法はA+37設置時(コンロ部)の寸法です。
 ※オーブン設置寸法は、オーブン側の「工事説明書」を参照してください。

<単位: mm>



◎ワークトップおよびキャビネットについて

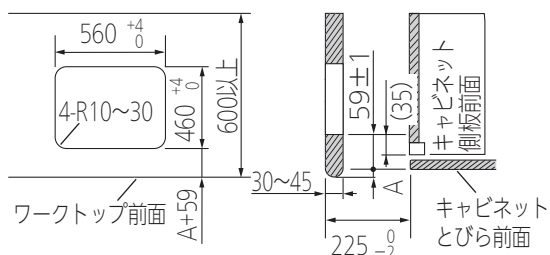
- ・ワークトップ材は熱硬化性樹脂化粧板(JIS K6903)または同等以上の材料としてください。
- ・ワークトップの表面がニス引きのものは変色しますので使用しないでください。
- ・機器を組み込むために、下図の寸法穴に加工してください。
- ・穴あけ寸法は、公差内になるように加工してください。公差外になると取り付けができなくなります。

⚠ 注意



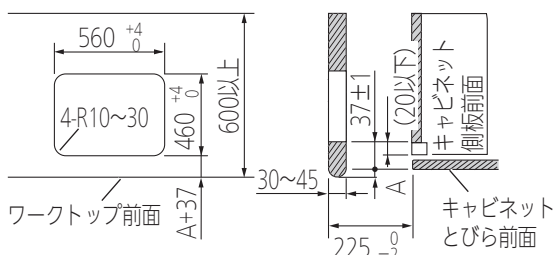
45mmを超える厚いワークトップには設置しない。
 ワークトップの温度が上がり焼損のおそれがあります。
 また、不完全燃焼の原因になります。

標準 (A+59) 穴あけ寸法



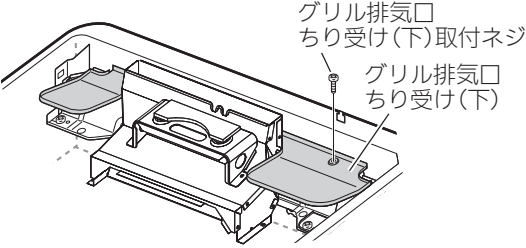
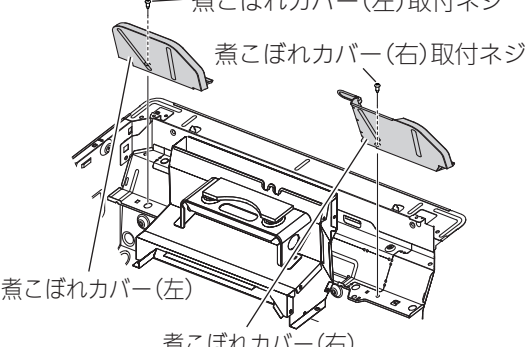
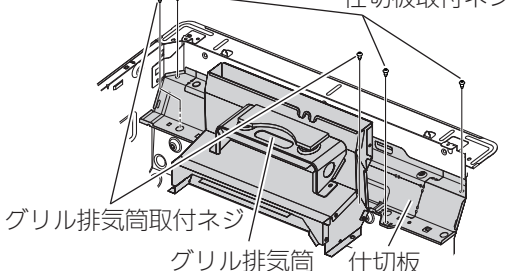
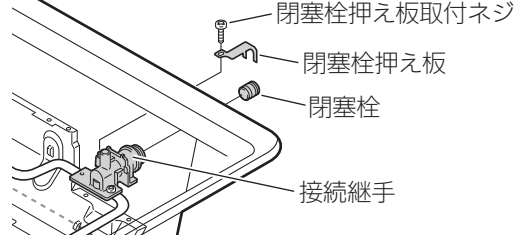
A+37穴あけ寸法

<単位: mm>



穴あけ寸法はA+59が標準です。ただし、設置フリータイプですのでワークトップ穴あけ寸法はA+59、(A+45) A+37のどちらでも設置できます。

[取り付け前の準備]

作 業 手 順	説 明 図
1. ビルトイン形ガスオーブンが設置されていることを確認する	この作業はビルトイン形ガスオーブン側に付属されている「工事説明書」を参照し、確認してください。
2. グリル排気口ちり受け(下)の取り外し (品名コードがDW31タイプのみ) グリル排気口ちり受け(下) (ネジ1本)を取り外す。 《取り外したグリル排気口ちり受け(下)、グリル排気口ちり受け(下)取付ネジは不要。》 ※イラストはわかりやすくするために、透視図にしています。	 グリル排気口 ちり受け(下)取付ネジ グリル排気口 ちり受け(下)
3. 煮こぼれカバー(左)(右)の取り外し 煮こぼれカバー(左)(右) (ネジ各1本)を取り外してください。 《取り外した煮こぼれカバー(左)(右)・煮こぼれカバー(左)(右)取付ネジはガス接続後、再度使用します。》 ※イラストはわかりやすくするために、透視図にしています。	 煮こぼれカバー(左)取付ネジ 煮こぼれカバー(右)取付ネジ 煮こぼれカバー(左) 煮こぼれカバー(右)
4. グリル排気筒・仕切板の取り外し グリル排気筒(ネジ2本)・仕切板(ネジ3本)を取り外してください。 《取り外したグリル排気筒・グリル排気筒取付ネジ・仕切板・仕切板取付ネジはガス接続後、再度使用します。》 ※イラストはわかりやすくするために、透視図にしています。	 仕切板取付ネジ グリル排気筒取付ネジ グリル排気筒 仕切板
5. 閉塞栓の取り外し - 閉塞栓押え板(ネジ1本)を取り外してください。 - 閉塞栓を後方へ引き抜いてください。 《取り外した閉塞栓、閉塞栓押え板、閉塞栓押え板取付ネジは不要です。》 ※イラストはわかりやすくするために、透視図にしています。	 閉塞栓押え板取付ネジ 閉塞栓押え板 閉塞栓 接続継手

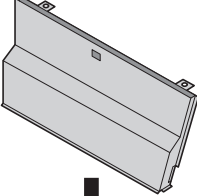
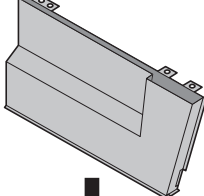
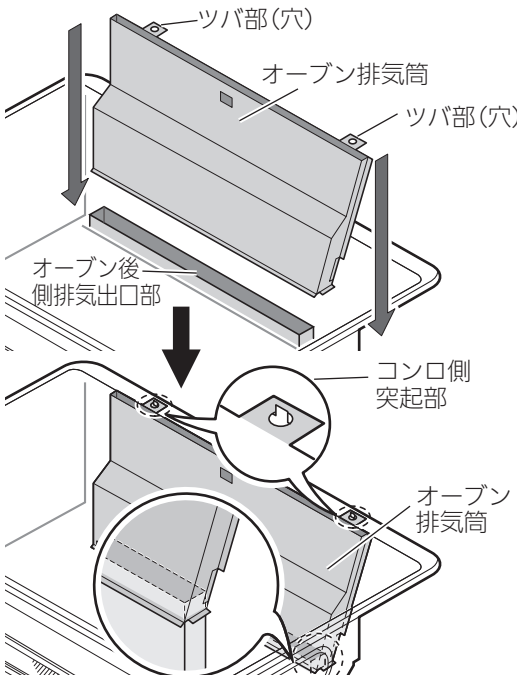
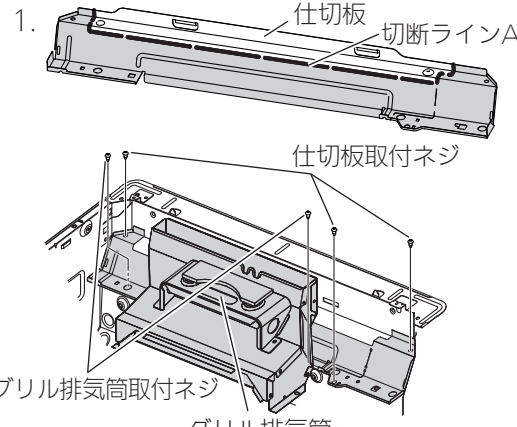
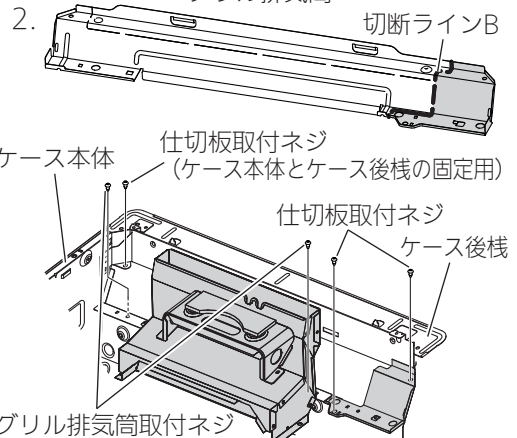
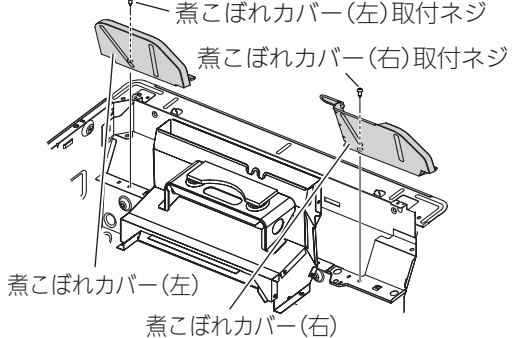
[ビルトインコンロとビルトイン形ガスオーブンの組み合わせ作業]

作 業 手 順	説 明 図
1. 前パットの取り外し ・前パットを手前に引き抜いてください。 お願い ・グリルとびらシート・ロックつまみ保護パット・テープは、機器本体のはめ込みが終わるまで、取り外さないでください。取り外すと、グリルとびらや操作部が開き、設置時にキズがついたり、破損する原因になります。	
2. 機器本体のはめ込み 《機器本体をはめ込む前に、オーブン側のコンロ接続用フレキ管を右図のような形状・寸法に曲げてください。》 ・機器中央部の設置用取っ手を持ち、機器本体をキャビネットにはめ込んでください。 ※上部左右の枠を持たないでください。(75cm幅タイプ) ※はめ込み時はワークトップやパネルなどをキズつけないように注意してください。 ⚠ 注意 禁止 絶対にガス配管やバーナーなどを持たない。 ガス漏れや異常燃焼の原因になります。 必ず守る 機器を設置したあと、設置用取っ手を手前にたおす。 トッププレートガラス破損につながる危険があります。	部は持たないでください。 (75cm幅タイプ)
3. サイドモールの取り付け ・グリルとびらシート、ロックつまみ保護パット、テープを取り外してサイドモールドを機器本体前部サイドの凸部(切り込み)にまっすぐに差し込み、奥にあたるまで差し込んでください。 ※サイドモールドは、(左)(右)がありますので、右図の通り取り付けてください。 《サイドモールドの取り付け忘れ注意！》 ※イラストはわかりやすくするために、コンロ本体のみにしています。	

パネルふた、操作部ふたの取り付け時、必ず確認してください。

⚠ 注意 必ず守る 左右パネルふた(各1個)、左右操作部ふた(各1個)の取り付け方向に注意する。 左操作部パネルふた 左・後コンロ操作部ふた 右操作部パネルふた グリル・右コンロ操作部ふた パネルふた、操作部ふたの取付位置	
---	--

作 業 手 順	説 明 図
4. パネルふたの取り付け ※必ずグリルとびらを引き出した状態で行ってください。 1. パネルふたのツメ（2カ所）を機器本体の欠き部に合わせて、グリル側から取り付けてください。 2. パネルふたのツメを欠き部に差し込み、パネルふたを押し当ててください。 3. ロックバーをカチッと音がするまで下げてください。 ※ツメが機器本体の欠き部にきちんと差し込まれているか、また、パネルの浮き、外れがないか確認してください。 ※イラストは、右操作部パネルふたで説明しています。左操作部パネルふたも同様に取り付けてください。 ただし、ツメや欠き部、ロックバーの位置が左右逆になりますので、注意してください。	1. 欠き部 右操作部パネルふた ツメ 2. 3. 下げる ロックバー
5. 操作部ふたの取り付け 1. 操作部ふた（裏面）のツメ（2カ所）の開いている部分をパネル下方の軸部に合わせ、斜め上方よりパチンと音がするまで差し込んでください。 2. 操作部ふたを奥側に押して、操作部を取り付けてください。 3. もう一度、操作部ふたを奥側に押して、操作部を開け、操作部ふたと操作部に浮きがないことを確認してください。 ⚠ 注意 ！ 必ず守る 操作部ふたのツメ（2カ所）を差し込むときは、軸部にまっすぐ2カ所同時に差し込む。 傾けて取り付けると、ツメが破損するおそれがあります。 ！ 必ず守る 操作部ふたと操作部に浮きがないことを必ず確認する。 浮きがあると、煮こぼれが機器内部に浸入し、故障の原因になります。 浮きがないかを確認 浮きがある場合は図のようにはめ込んでください。 ※イラストは、グリル・右コンロ操作部ふたで説明しています。左・後コンロ操作部ふたも同様に取り付けてください。	グリル・右コンロ 操作部ふた（裏面） ツメ 軸部 1. 差し込む 2. 押し込む
6. 機器本体の固定 ・機器本体の位置決めは、機器本体側面の本体固定ネジ（4本）でワークトップに固定してください。 ※機器前面とキャビネット前面とのおさまり具合を確認しながら位置決めを行ってください。	機器本体 本体固定ネジ イラストは、75cm幅タイプです。
7. オープンとコンロのガス接続 ・オープン側に組み付けてあるコンロ接続用フレキ管をコンロ側の接続口と接続してください。	接続の方法は、19ページ「ビルトインコンロとビルトイン形ガスオープンとの接続方法」を参照してください。

作 業 手 順	説 明 図
8. オープン排気筒(オープン側の付属部品)の取り付け ・オープン排気筒上部のツバ部(穴)をコンロ側突起部に差し込みながら、オープン後側の排気出口に確実に差し込んでください。 ※イラストはわかりやすくするために、透視図にしています。 ・オープンの種類によって、オープン排気筒の形状が異なります。オープン排気筒によって、仕切板の切断位置が変わりますので、注意してください。 ① ふくらみなし  仕切板 切断ラインAで切断 ② 片側ふくらみ  仕切板 切断ラインBで切断	
9. 仕切板・グリル排気筒の取り付け - オープン排気筒形状が上記の ① [ふくらみなし] の場合 ・仕切板を切断ラインAに沿って、ニッパーで切り取り、元通りに仕切板(ネジ3本)・グリル排気筒(ネジ2本)を取り付けてください。 《切り取った仕切板は不要です。》 - オープン排気筒形状が上記の ② [片側ふくらみ] の場合 ・仕切板を切断ラインBに沿って、ニッパーで切り取り、元通りに仕切板(ネジ3本)・グリル排気筒(ネジ2本)を取り付けてください。(左側の仕切板取付ネジ(1本)は、ケース本体とケース後栈の固定用として取り付けてください。) ⚠ 注意 必ず守る グリル排気筒を確実に取り付ける <u>グリル排気筒が確実に取り付けられていないまま使用すると、機器が正常に機能しない場合や、機器損傷の原因になります。</u> 《切り取った仕切板は不要です。》 ※イラストはわかりやすくするために、透視図にしています。	 
10. 煮こぼれカバー(左)(右)の取り付け ・元通りに煮こぼれカバー(左)(右)(ネジ各1本)を取り付けてください。 ※イラストはわかりやすくするために、透視図にしています。	

[部品の取り付け]

作 業 手 順	説 明 図
トッププレート・バーナーキャップ・バーナーリングカバー・ ごとく・グリル排気口カバー・乾電池・サイドカバー・グリル 受け皿・グリル焼網支持台・グリル焼網の取り付け ※グリル排気口ちり受け(上)(品名コードがDW31タイプ以外)は 取り付けできません。	取り付け方法は、9～13ページ「[部品の 取り付け]」の項を参照してください。

[レンジフードファンの赤外線信号の動作確認]

(品名コードの末尾が『E』『ES』『C1W2T』タイプのみ)

作 業 手 順	説 明 図
レンジフードファンと連動する場合 ・コンロ操作部で点火操作して、レンジフードファンの連動を確認してください。	レンジフードファンが動作しない場合は、12ペ ージ「◎設定の変更」の項を参照してください。

ガス接続・ガス配管工事

◎ガス接続

・ビルトインコンロとビルトイン形ガスオーブンとの接続方法（コンロ接続用フレキ管）

⚠ 注意

- 必ず守る**

 コンロ接続用フレキ管にOリングがついていることを必ず確認する。
 ※万一、なくなった場合やキズついた場合は、オーブン側に予備用としてOリングが入っていますので、使用してください。
 ※コンロ部の取り替え時は、Oリングを新しいものに取り替えてください。
 - 禁止**

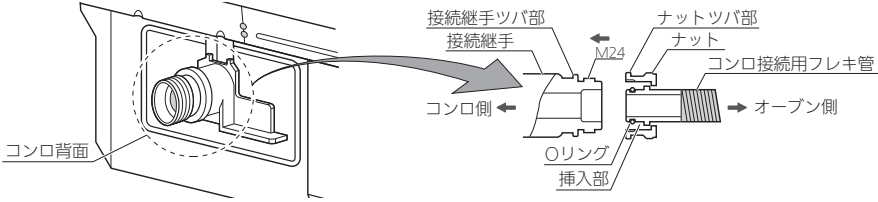
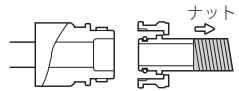
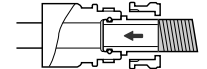
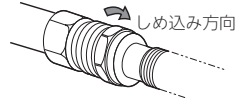
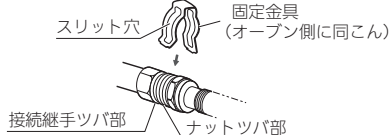
 Oリングは複数個入れない。
 - 禁止**

 コンロ接続用フレキ管は斜めに挿入しない。
 ※斜めに挿入するとOリングがキズついたり、かみ込んだりしますので、必ず平行に挿入してください。
 - 必ず守る**

 固定金具のスリット穴の中に、接続継手とコンロ接続用フレキ管ナットのツバ部が入っていることを必ず確認する。
 - 禁止**

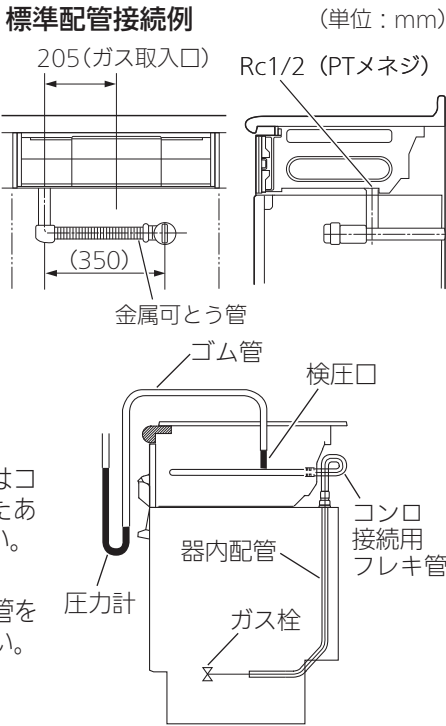
 コンロ接続用フレキ管のナットは、一定量圧縮するとそれ以上回らなくなるので無理に回さない。
 - 禁止**

 コンロ接続用フレキ管は、ねじったり、繰り返しくねたり、衝撃を与えたりしない。
- 上記項目を守らなかった場合、ガス漏れの原因になります。

作 業 手 順	説 明 図
■接続部の構造 	
1. オーブン側に組み付けてあるコンロ接続用フレキ管のナット部を矢印方向へ移動させてください。	
2. 挿入部を接続継手と平行に奥まで確実に挿入してください。	
3. 手じめで接続用フレキ管のナットを回し、ナットツバ部と接続継手ツバ部が合うまで締め込んでください。	
4. ナットと接続継手の両方のツバ部が固定金具のスリット穴に入るように固定金具をはめ込んでください。 ※固定金具はナットのゆるみを止めるもので固定金具のスリット穴の中に接続継手とナットのツバ部が入っていることを確認してください。	

◎ガス配管工事

- ・機器へのガス接続に必要な資格について
 - ・都市ガス用機器の場合、内管工事士、簡易内管施工士、ガス機器設置スペシャリスト、ガス可とう管接続工事監督者のいずれかの必要な資格を有する者が施工すること。
 - ・LPガス用機器の場合、液化石油ガス設備士の資格を有する者が施工すること。
(ガス機器設置スペシャリストは「燃焼器用ホース」の交換のみ施工可能)
なお、液化石油ガス設備工事を行う事業者は、事業所ごとに所在地を管轄する都道府県知事に「特定液化石油ガス設備工事事業開始届書」を提出する必要があります。
- ・機器を設置する場所にガス栓がない場合や、あっても適切でない(位置・口径)場合は、新設または交換をしてください。
- ・ガス接続方法
 - [ビルトインコンロ単体で設置する場合]
 - ・ガス接続は金属管、金属可とう管または、機器接続ガス栓を使用してください。
 - ・ガス接続はRc1/2 (PTメネジ) です。
 - [ビルトインコンロとビルトイン形ガスオーブンをセットで設置する場合]
 - ・ガス接続口、配管工事は、オープン側の「工事説明書」を参照してください。
すでにオープンが設置されている場合は、19ページのガス接続に従ってガス接続してください。
- ・接続・工事後のガス漏れ確認
 - [機器のガス接続が完了している場合]
 - ・検圧口(コンロとオーブンをセットで設置した場合は、オープンまたはコンロの検圧口)に圧力計を接続し、ガス栓を開いて一旦ガス圧を加えたあと、ガス栓を閉めて圧力計の指示が下がらないことを確認してください。
 - [機器のガス接続ができていない場合]
 - ・検圧口に接続したゴム管から空気を吹き込み、圧力が逃げないようにゴム管を圧力計につなぎ替えて、圧力計の指示が下がらないことを確認してください。
 - [ガス漏れ確認終了後]
 - ・検圧口ネジは確実に取り付けてください。
 - ・ビルトインコンロ側で検圧した場合は、必ず付属のアルミパッキンと取り替えてください。
 - ・検圧口ネジを取り付け後に検圧口部からのガス漏れがないことを確認してください。



設置後の点検確認

- ・設置が終了したら、チェックリストに基づいて、必ず再確認を行ってください。

チェックリスト

点検項目		点 検 内 容	参照ページ	チェック
機器およびその周辺	ガ ス 種	銘板は使用するガス種に適合していますか。	4	
	同 こん 部 品	正しく取り付けられていますか。また不足はありませんか。	2・7~13 16~17・19	
	可燃物との離隔距離	可燃物との離隔距離、火災予防上の措置は十分ですか。	4~5	
	設置 条 件	障害物などとの離隔距離は十分ですか。	4~5	
	保守・管理上の空間	点検・修理に必要な空間はありますか。	5	
	水 平 設 置	水平に設置されていますか。	5	
	安 定 設 置	強固に設置され、ガタツキはないですか。	5	
	パネルふた・操作部ふた	前面のパネルふた・操作部ふたに「浮き」はありませんか。 ロックバーをカチッと音がするまで下げましたか。	8・11~12 16~17	
	シールパッキン	シールパッキンは確実に取り付けられていますか。	9	
給 排 気		十分給排気できる場所に設置されていますか。	5	
キャビネット		キャビネットに背板がありますか。(機器後方に穴があいていないか。)	5	
ガス接続・ガス配管工事		接続は正しく施工され、ガス漏れはありませんか。	19~裏表紙	
ラベル貼付		接続具の施工者ラベルおよび連絡先のステッカーを貼り付けましたか。	—	
レンジフード連動		レンジフードファンが点火動作に連動して動作しましたか。	12・19	
その他		グリル・オープン庫内に同こん物が残っていませんか。	—	

試運転

- ・正しく設置されていることを確認してから、機器のガス栓を開き、取扱説明書の「使いかた」に基づいて点火および試運転を行ってください。
- ・試運転終了後、長期間使用しないときはガス栓を閉めておいてください。